

# 次期愛知県産業労働計画（仮称）骨子（案）

## 1. 計画の基本的事項

### （1）策定趣旨

- 現行の「あいち産業労働ビジョン 2016－2020」が 2020 年度末に計画期間を終えるほか、県全体の長期計画である「あいちビジョン」について、2020 年秋頃の策定を目指し、次期「あいちビジョン」の検討が進められている。
- 「あいち産業労働ビジョン 2016－2020」の進捗状況を踏まえるとともに、次期「あいちビジョン」の方向性に沿った産業労働施策の展開に向け、新たな計画を策定する。

### （2）計画の位置づけ

- 次期「あいちビジョン」の個別計画として、**産業労働分野の具体的な施策**を示す。
- 「愛知県中小企業振興基本条例」に基づき、**中小・小規模企業の振興に関する総合的な施策**を示す。
- SDGs の達成に向けた、本県の産業労働分野の具体的な施策を示す。

### （3）計画期間

- **2030～2040 年頃の社会経済を展望**し、目指すべき産業労働分野の姿を提示したうえで、その実現に向け **2025 年度までに取り組む施策の方向性と主な施策**を示す。

**計画期間：2021～2025 年度（5 年間）**

## 2. 検討の視点

### （1）新型コロナの感染拡大と「新しい生活様式」への対応

- **新型コロナウイルス感染症により世界経済は戦後最大の危機**に直面。
  - \*日本の GDP は 2020 年 1～3 月期が年率で 2.2%減、4～6 月期は戦後最悪の落込みの可能性。
  - \*2020 年の世界 GDP について、世界銀行はマイナス 5.2%、IMF はマイナス 4.9%との予測。両機関ともに、2020 年後半に収束するとの前提の下、2021 年はプラス成長を予測するものの、不確実性が高いと指摘。
- **当面の危機克服に向けた対策の継続・充実**が必要。
  - \*感染拡大のリスクが残る中、社会経済活動の再開は段階的な取組に。
  - \*その間は、事業継続や雇用維持の支援など、深刻な経済ダメージを抑える取組が必要。
- **感染拡大防止と経済活動を両立する「新しい生活様式」への対応**が必要。
  - \*感染症との共存が求められる中、従前のビジネスモデルに完全に戻ることは困難に。
  - \*デジタル化・オンライン化・自動化などによる「新しい生活様式」に対応した経済社会構造の構築が重要に。

### （3）計画策定に当たっての基本的な考え方

- 愛知の経済と雇用、地域社会を支える **中小・小規模企業の企業力強化と持続的な発展を第一**とし、本計画の基盤に据える。
- 社会経済の展望を踏まえると、**従来の考え方や取組の延長線上では、愛知の持続的な発展は困難との危機感**を共有する。
- 従来の産業分野や業種の垣根が曖昧となり、融合が進んでいること、県内各地域の産業集積に違いがあることを踏まえ、**第 1 次から第 3 次までのあらゆる産業分野への展開**を視野に入れる。
- 「**産業**」「**労働**」「**人づくり**」「**まちづくり**」が相互に密接に関係することから、全庁的な連携を図る。
- **県内経済団体・労働団体・支援機関等と連携**し、地域を挙げて取り組む。
- 産業経済活動が広域化・グローバル化することから、**広域的な視点**を盛り込む。

### （2）2030 年～2040 年頃の社会経済の展望

- 人口減少の本格化・人生 100 年時代の到来
  - 生産性の向上や多様な人材の活躍**が一層必要に
- 第 4 次産業革命の進展
  - デジタル技術への対応や革新的な技術・サービスの社会実装**が重要に
  - IoT やロボットなど**遠隔化・無人化の社会システム**が前提に
- AI・ロボット等の技術の進化に伴う雇用の変化・働き方の多様化
  - 生涯を通じた職業能力開発や働き方改革**が重要に
  - テレワークやオンラインミーティング**などが日常に
- 世界経済の多極化・地球の持続可能性の危機
  - 都市間競争に打ち勝つ**地域ブランド力**が重要に
  - 感染症など新たなリスク**も加わる中で **SDGs** をあらゆる活動の根底に

### ※第 1 回策定委員会・各部会、地域産業労働会議、車座集会等での主なご意見

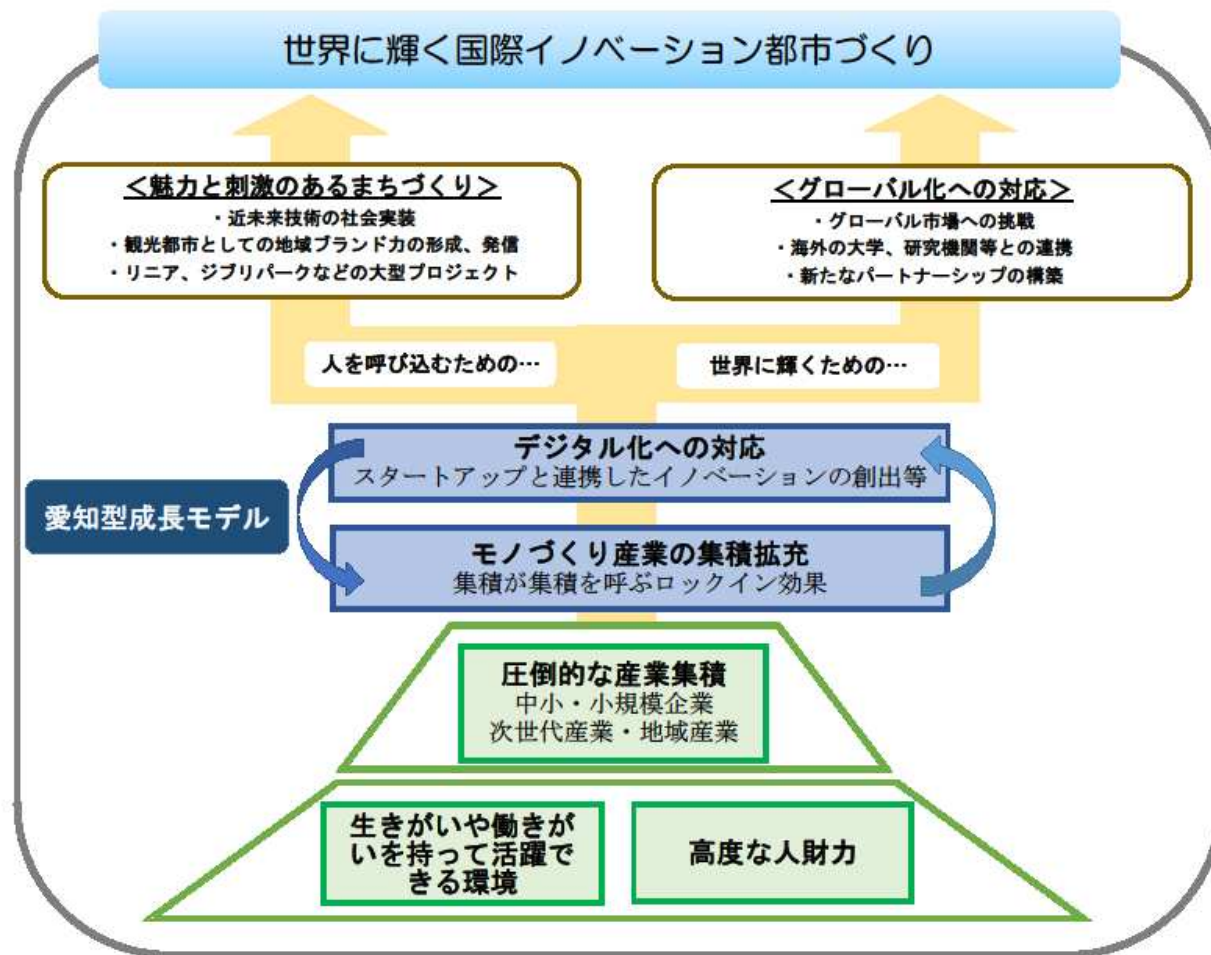
- ・中小・小規模企業を伸ばすことを大きな柱の一つに位置付けてほしい。
- ・中小企業支援とイノベーションやスタートアップ支援といった施策とのバランスを考えた方向性を。
- ・過去の延長線上では将来の姿を描くことができないという危機感を共有し、教育の充実やインフラ整備など、あらゆる面でこれまでとは違うアプローチが必要。
- ・「日本の未来を切り拓く」よりも、「世界とどれだけ闘える」国際イノベーション都市なのかを考えることが必要。
- ・都市部のみならず、愛知県全体の産業構造を見据えた計画に。
- ・1 次・2 次・3 次産業の分厚い集積を、観光を通じた出会いの力と組み合わせることによって、ブランドやイノベーションへと転換させるための戦略的な使い方をすることが必要。
- ・東三河地域の強みである農業で、デジタル技術を活用し、1 次産業の高度化や成長産業化を図る視点を。
- ・働く期間が伸びていくに従い、リカレント教育など新しい学び方や新しい働き方が重要に。
- ・イノベティブな人材の育成に当たっては、女性が安心して働くことができる優れた保育・教育環境などが重要。
- ・海外とのパートナーシップについて、いかに多角的に企業レベル・地域レベルで独自のネットワークを作るかが大事。
- ・近隣地域からは、一つの経済圏・社会圏の中で愛知県のリードを期待する声がある。



### 3. 目指すべき姿

#### ◇目標：世界に輝く国際イノベーション都市づくり

- 産業集積の礎となる中小・小規模企業の企業力強化や次世代産業の振興を図るとともに、誰もが生きがいや働きがいを持って活躍できる環境づくり、産業を担う高度人材づくりを着実に進めていく。
- 愛知の成長の源である集積が集積を呼ぶロックイン効果によりモノづくり産業の更なる集積を図るとともに、スタートアップと連携したイノベーションの創出等によるモノづくりとデジタル技術の融合など、技術革新による社会経済への変化に対応した愛知独自の成長モデル（愛知型成長モデル）を進化させ、更なる産業競争力の強化を図っていく。
- 愛知型成長モデルを原動力に、国内外から企業や人材を呼び込む魅力や刺激のあるまちづくりを進めるとともに、海外市場の開拓や外国とのパートナーシップの構築など地域のグローバル展開を図ることで、国際イノベーション都市づくりを進めていく。
- こうした考え方のもと、2030年から2040年に向けて、次の3つの姿を目指していく。

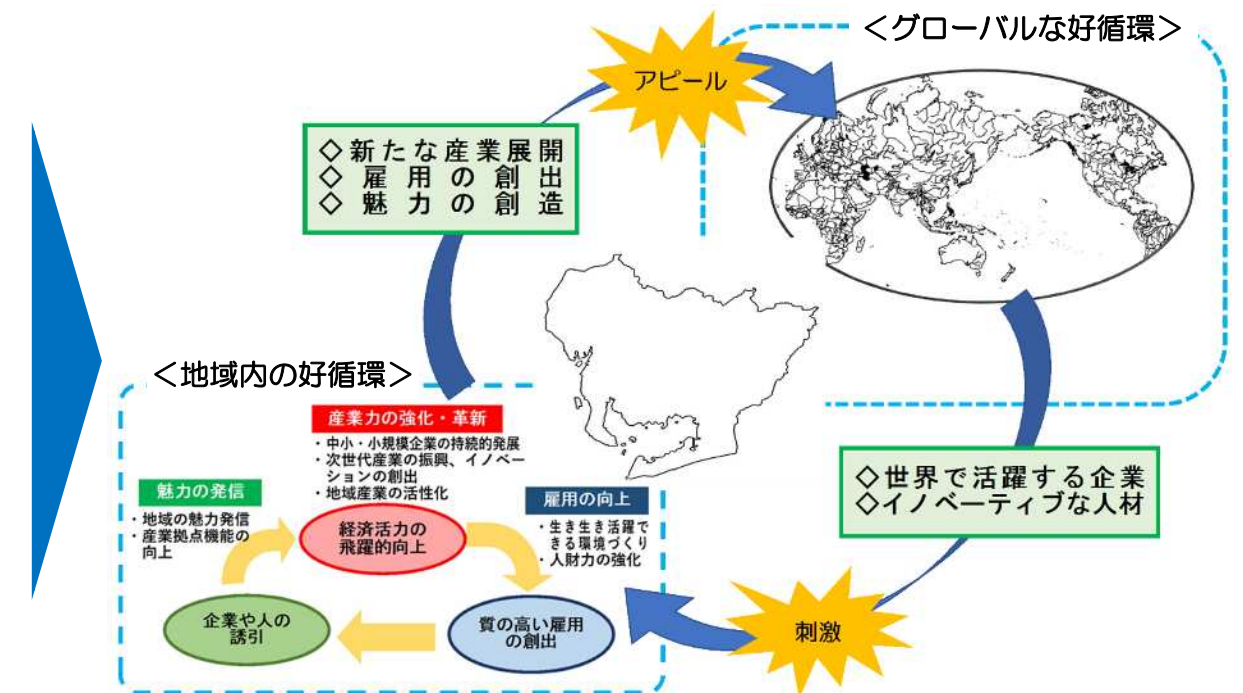


#### <国際イノベーション都市づくりによる3つの目指すべき姿>

- **イノベーションが次々と生み出されるとともに、持続可能な社会を支える産業が展開する地域**
  - ・最先端の技術やサービスの実証実験・社会実装が活発に展開されるなど、世界をリードする産業の革新や創造が進むイノベーション・エコシステムが形成されている。
  - ・地域課題の解決や日々の暮らしに必要なモノやサービスなど、地域で消費するものは地域で生産する「地消地産」を支える足腰の強い産業が地域に根付いている。
  - ・中小・小規模企業が、ナンバーワン・オンリーワンの技術や技能、ビジネスモデルを武器として、グローバルな経済活動の中で欠くことのできないプレイヤーとして活躍している。
- **人や企業を呼び込み、世界的な交流・連携の拠点となる存在感のある地域**
  - ・愛知県国際展示場等でのMICEなど、分厚い産業集積と観光交流を組み合わせることにより、国内外から企業や人が集まり、イノベーションが創出される拠点として認知されている。
  - ・ジブリパーク・アジア競技大会など、この地域に魅力や刺激を加える大規模プロジェクトを通じて、観光都市としてのブランド力が高まっている。
  - ・海外との独自のパートナーシップが進展し、地域間でのビジネスや投資、企業進出など、グローバルな経済交流活動が活発に展開されている。
- **誰もが自らの能力を高め・発揮し、生きがいや働きがいをもって活躍できる地域**
  - ・人間にしか生み出せない新たな価値を創造する人材を育む環境が整備され、前向きに挑戦する人が育ち、失敗しても評価され、再チャレンジが可能になっている。
  - ・一度社会に出てからも、時代の変化に合わせて、いつでも何度でも学び直し、自らの能力や可能性を高めることができる。
  - ・性別や年齢、国籍、障害の有無に関わらず、誰もがその意欲や能力に応じ、社会の担い手として活躍できる環境が整っている。

#### ◇目標達成に向けた施策展開の考え方

- まずは、新型コロナウイルスの感染拡大による当面の危機の克服と「新しい生活様式」に対応した産業経済への転換を第一に取り組んでいく。
- 「新しい生活様式」の定着に向けた取組と併せ、愛知の強みである産業力の強化・革新を図り、経済活力を飛躍的に向上させ、雇用の場の創出と質の向上を図る。そして、圧倒的な経済活力と質の高い雇用を背景に、愛知の様々な魅力を発信することにより、企業や人を誘引し、それが新たな経済活力の飛躍的向上につながる“地域内の好循環”を生み出していく。
- さらに、世界で活躍する企業やイノベティブな人材を呼び込むことが、地域内の好循環への刺激となり、新たな産業展開や雇用の創出、地域の魅力の創造を可能にする。こうした環境を世界へとアピールすることで、更なる企業・人材の誘引につなげる“グローバルな好循環”を作り出す。
- こうした考え方により、世界に輝く国際イノベーション都市づくりに向けた施策を展開していく。





## 4. 施策の体系

○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による危機の克服と「新しい生活様式」に対応した緊急対策に全力で取り組む。

### 緊急対策：新型コロナウイルス感染症からの再起動

#### 【事業継続や就労及び雇用維持の支援】

- ・つなぎ融資制度などによる資金繰りの支援
- ・WEB版合同企業説明会・地域単位のミニ就職説明会の開催
- ・持続化給付金、雇用調整助成金など国の支援制度の利用促進

#### 【強靱な経済構造の構築】

- ・新型コロナに対応したBCPモデルの策定・普及促進
- ・感染症対策に資する新サービス・新製品の開発・販路拡大支援
- ・専門家派遣等によるテレワークの導入支援

#### 【収束後の反転攻勢に向けた需要喚起】

- ・購入型クラウドファンディングサイト活用による事業者支援・消費喚起
- ・旅行商品購入者への助成など旅行需要の拡大
- ・市町村が実施するプレミアム商品券発行事業の支援 など

○ 目標に掲げた3つの目指すべき姿に向け、6つの施策の柱・1つの基盤施策を推進していく（個別の施策はコロナ対応の視点から適宜見直し）。

### 柱1：次世代産業の振興・イノベーションの創出

○モビリティやロボットなど、モノづくりの集積を生かした近未来技術の社会実装や、スタートアップの支援など、新たなイノベーションの創出に向けた取組を進める。

#### 【次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進】

- ・自動運転などCASEへの対応、MaaSなどの普及促進

#### 【航空宇宙産業の振興】

- ・「あいち・なごやアロハスペース」による経営基盤強化のための販路開拓支援等

#### 【ロボット産業の振興】

- ・ロボット国際大会の開催
- ・サービスロボットやドローンなどの開発及び社会実装の促進

#### 【スタートアップ・エコシステムの形成促進】

- ・「Aichi-Startup 戦略」の推進、「ステーションA i」の整備
- ・海外のスタートアップ支援機関との連携 など

### 柱2：地域産業の活性化

○環境・新エネルギー等の課題解決型産業や、生産性の向上等を通じた商業、サービス産業、地場産業、農林水産業の振興など、生活や持続可能な社会を支える地域産業の活性化を図る。

#### 【課題解決型産業の育成】

- ・環境・新エネルギー、健康長寿産業の振興

#### 【商業、サービス産業、地場産業の振興】

- ・魅力ある商店街・個店の創出支援、サービス産業の生産性向上
- ・地場産業の振興

#### 【農林水産業の振興】

- ・スマート農業・林業技術の実証と推進
- ・農商工連携、6次産業化の推進 など

### 柱3：地域の魅力発信・ブランド力の向上

○ジブリパークやリニア中央新幹線の開業を見据えつつ、デジタル等を活用して観光県あいちとしての魅力を適したターゲットに届けて誘客を実現し、観光関連産業の活性化を図る。

#### 【愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション】

- ・愛知県の歴史・産業・自然・文化等に根差した地域資源の発掘・磨き上げ
- ・運輸機関等との連携など、効果的なPR・プロモーション

#### 【ジブリパークやMICE等を通じた誘客】

- ・ジブリパークを始めとした大型プロジェクトの推進
- ・国際観光都市の形成、MICEの誘致、スポーツ大会の招致

#### 【持続可能な受入れ体制・機能の整備・充実】

- ・旅行者の立場に立った受入れ体制の整備・充実 など

### 柱4：グローバルな産業拠点機能の向上

○海外の国・地域との戦略的連携の強化等の国際ビジネスの拡大支援、国内外からの立地促進・立地環境の整備、研究開発機能の強化により、グローバルな産業拠点機能の向上を図る。

#### 【国際ビジネスの拡大支援】

- ・海外の国・地域との戦略的連携の強化、県内企業のグローバル展開への支援
- ・愛知県国際展示場を生かした交流の促進とビジネス展開の支援

#### 【立地促進・立地環境の整備】

- ・国内外からの企業立地の支援、産業用地の開発・規制緩和等
- ・陸・海・空のインフラ整備・機能強化

#### 【研究開発機能の強化】

- ・「知の拠点あいち」を核とした産学行政の連携による研究開発の推進 など

### 柱5：誰もが生き生きと活躍できる環境づくり

○年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらず、誰もが自らの意欲に応じて、その能力を発揮し、生き生きと活躍できる環境づくりを進める。

#### 【全員活躍に向けた環境づくり】

- ・若者の定着等に向けた支援
- ・女性の活躍の場の拡大
- ・高齢者、障害者の活躍支援
- ・外国人の活躍支援、多文化共生社会づくり
- ・就職氷河期世代の活躍支援

#### 【生き生きと働ける環境づくり】

- ・働き方改革、ワーク・ライフ・バランスの推進 など

### 柱6：愛知の産業を担う人財力の強化

○イノベーションを創出する人材や、高度なモノづくり技術・技能を有する人材の育成、国内外からの人材確保を図るとともに、産学行政が連携し、社会全体で人材を育成する体制を整える。

#### 【イノベーション人材の育成】

- ・科学技術人材・グローバル人材・デジタル人材などの育成

#### 【高度なモノづくり人材等の育成支援】

- ・モノづくり技術・技能の継承・育成支援

#### 【国内外からの人材の確保】

- ・首都圏等からのUIJターンの促進、高度外国人材の受入の促進

#### 【キャリア教育・リカレント教育の推進】

- ・学校での発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進
- ・大学等と連携したリカレント教育の推進 など

### 基盤施策：中小・小規模企業の持続的発展

○愛知県中小企業振興基本条例に基づき、本県の産業と雇用、地域社会を支える、頑張る中小・小規模企業の持続的な発展を図る。

#### 【経営基盤の強化、人材育成・確保の支援】

- ・金融、販路開拓、技術開発、情報化、海外展開、知的財産、企業防災力の強化といった経営課題に対する総合的な支援
- ・中小・小規模企業の人材育成・確保など人づくりへの支援
- ・社会変化に対応するためのデジタル技術活用の推進

#### 【事業承継、起業・創業などへの支援】

- ・円滑な事業承継や、起業・創業などの支援
- ・新事業展開など産業構造の変化への支援

#### 【中小・小規模企業の魅力発信】

- ・技術・サービス面や労働環境面などで独自性や先進性を有する企業の情報発信
- ・中小・小規模企業の存在意義や魅力の発信・機運醸成 など

## 5. 計画の推進体制

- 柱ごとに、目指すべき姿を示す**成果達成目標**と、個別施策の進捗を管理する**進捗管理指標**を設定。
- 有識者や関係団体の参画を得たフォローアップ会議により、**毎年度進捗状況を管理**。
- 地域産業労働会議、車座集会により、**県内各地域や中小・小規模企業の声**にきめ細やかに対応。近隣県などとの意見交換などにより**広域連携を推進**。
- 社会経済動向の変化に応じて施策の追補を図るなど、**計画内容を適時適切に見直し**。